

プラント審査資料及び提出時期

提出資料	提出時期
まとめ資料	2023年3月 ※ 但し、ハザード確定後に解析・評価が必要な項目は追而とし、先行炉と同様に暫定値（評価）で審査頂きたい。
比較表	
論点説明資料（PowerPoint）	初回ヒアリングの2日前まで

<ハザード確定後に解析・評価が必要な項目の例>

- ・ **基準地震動確定後**：動的機能維持評価、内部溢水（耐震関係など）、地震PRA など
- ・ **基準津波確定後**：津波PRA、基準津波を超える津波防護方針 など
- ・ **降下火砕物層厚確定後**：火山関係 など

プラント審査資料の作成方針①

1. 比較表の対象プラント選定について

先行炉では許可済のBWRプラント全てを対象に比較表を作成しているが、その方針では、後発炉ほど比較対象プラントが増加するため、以下の構成を提案する。（4連比較表 + 2連比較表）



合同審査実績のある浜岡4をモデルプラントとして先行BWR3サイトと比較・説明し、浜岡3については浜岡4との差分を説明することで効率化を図る。（関西電力のDNP審査の説明イメージ）

【4連比較表】	柏崎6,7 <small>ベース</small>	女川2	島根2	浜岡4
	BWRモデルプラント	浜岡と同じ東芝製原子炉	最新許可プラント	合同審査実績あり
【2連比較表】	浜岡4	浜岡3	3,4号共通の内容については、効率化のため、項目単位で省略可とする。（項目名は記載）	
	先行炉と比較済み	浜岡4との差分を説明		

- ▶ BWRモデルプラントである柏崎6,7をベースに作成。
- ▶ 東海第二は、日立製原子炉、マークII型格納容器と共通点が少なく、審査論点については後続の女川2、島根2に反映されているため、東海第二を除く3サイトとの比較により、先行炉との相違把握が可能。
- ▶ ただし、審査項目によっては比較対象を柔軟に設定する。
 - ・ 越流津波：東海第二と比較
 - ・ 使用済燃料乾式貯蔵施設：伊方3、玄海3,4と比較
 - ・ 本文十一号、添付十一：美浜3、柏崎6,7、島根2と比較 など

プラント審査資料の作成方針②

2. 比較表作成範囲の考え方

- まとめ資料の「**本文**」： **全て作成**
- 上記以外のまとめ資料： **以下を除き、全て作成**
 - ① **当社固有の事項**であり、比較対象となる他プラント資料がないもの
 - ② **各プラント固有の事項**であり、他プラントと比較する意味合いがないもの
(主要建物の構造概要 など)
 - ③ **他の比較表**で先行炉との相違点を**把握可能**なもの
(本文、添付資料、他条文等の比較表で把握可能 など)
 - ④ 記載内容が細かく、比較表形式にすると**判読不可能**なもの (細かい図表類など)
 - ⑤ **非公開資料** (大規模損壊・別冊 など)
 - ⑥ その他 (ハザード側の審査資料を参考添付 など)

プラント審査資料の作成方針③

3. 論点説明資料（POWERPOINT）の構成の考え方

先行炉では、**まとめ資料全体の概要**をPOWERPOINTに再整理している。

- 論点でない内容も資料化
- まとめ資料との重複箇所が多く合理的でない上、修正時の不整合チェックなど無駄作業が多数発生
- 詳細な内容については、まとめ資料にて確認する必要あり

上記状況を踏まえ、POWERPOINT資料については、以下のとおり、論点を中心とした構成とさせていただきます。

- **合同審査時からの変更点**
- **先行炉との相違点**
- **浜岡3,4の相違点**
- **バックフィット件名**
- その他、重点的に説明したい事項